

釧路体協だより

第71号

発行 釧路市体育協会
平成28年9月30日

永年の功績を讃えて

釧路市体育協会表彰式 8月25日(木)

功 労 賞 ^{なる} ^み ^{ひで} ^{ただ}
鳴 海 英 忠 氏 (72歳) 釧路地区空手道連盟 会 長



昭和61年から30年間にわたり釧路地区空手道連盟において、理事、副会長、会長を歴任され、指導に専念する傍ら、役員として率先して空手道の競技力及び審判技能の向上に当たられました。昭和44年にカナダへ渡航して10年間。昭和52年の世界空手道大会ではカナダチームの技術監督を務めるとともに、カナダ各地において空手道の普及指導及び協会の設立等に尽力されました。これに端を発するカナダ杯は、本年で32回を数えるまでの隆盛を遂げ、永年にわたる空手道の普及振興を通してスポーツによる国際交流の活発化に大きな功績を残されました。

功 労 賞 ^ち ^ば ^{みつ} ^お
千 葉 光 雄 氏 (68歳) 釧路軟式野球連盟 顧 問



平成6年から22年間にわたり釧路軟式野球連盟において副会長を務められ、在任中は若年役員の育成や組織強化のため、関係する自治体及び団体との協議に奔走されました。また、高松宮杯を頂点とする数多くの全国・全道大会の誘致をはじめ、亜細亜大学硬式野球部の合宿要請やプロ野球北海道日本ハムの公式試合の誘致、学童野球充実のための野球教室開催などに力を注がれました。さらには長期間にわたり、釧路市民球場の電光掲示板設置や人工芝生化への改善整備の実現に向け尽力され、野球の普及振興に大きな功績を残されました。

表彰式で釧路市体育協会張江会長は、「鳴海氏は、カナダで多くの弟子を育て、帰釧後は多くの流派を束ねて空手道連盟として一つにまとめ上げた。千葉氏は、長期間にわたって野球環境の整備に取り組み、釧路の野球を支えてくれた」と、2人の功績を讃えました。

受賞者を代表して鳴海氏は、「受賞にあずかることができたのも釧路市体育協会ははじめ関係皆様方の深いご理解とご支援によるもの。今後も釧路市のスポーツを盛り上げていきたい」と謝辞を述べました。

故 横 地 敏 光 氏

ご功績を偲び ご冥福をお祈り申し上げます

平成16年 釧路体操連盟副会長
平成16年 釧路地方陸上競技協会副会長
平成20年 釧路体操連盟会長
平成21年 釧路市体育協会副会長
平成21年 釧路市スポーツ少年団本部長
(平成28年5月28日没 享年68歳)

体操及び陸上競技の普及振興に尽力されるとともに、釧路市体育協会副会長としてスポーツ少年団の育成に情熱を注がれました。

平成20年、湿原の風アリーナ釧路の落成時に北京五輪体操競技帰国報告演技会を開催するなど、釧路市のスポーツ振興に大きな功績を残されました。

釧路市秋季体育祭総合開会式

スポーツの祭典開幕 30種目に総勢6,000人

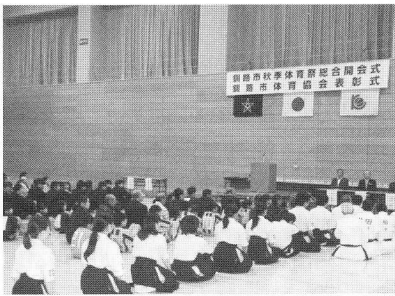
第71回釧路市秋季体育祭の総合開会式が8月25日（木）夜、「湿原の風アリーナ釧路」サブアリーナで行われました。

各競技の昨年度優勝チームの選手ら約250名が駆け付け、種目ごとに市長杯を返還し、優勝楯を受け取りました。

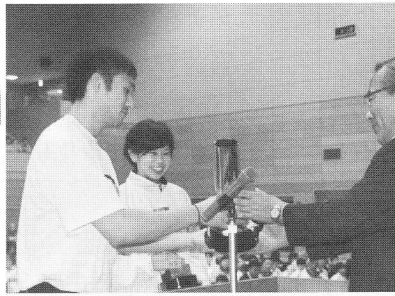
大会長である林義則教育長は「日本選手が大活躍したりオ五輪。その興奮冷めやらぬ中での秋季体育祭の開幕は、いつもに増して熱戦が繰り広げられるものと期待する。参加者は優勝杯を勝ち取るよう頑張ってもらいたい」と激励しました。

その後、参加者を代表して、釧路トランポリン協会所属の筑間友久シュテファン選手が「日頃支えてくださっている皆様に感謝し、釧路市民であることを誇りとし、自分の目標と元気な釧路の実現に向かって、正々堂々、全力で臨むことを誓う」と力強く選手宣誓を行いました。見事な宣誓ぶりに、会場から大きな拍手が湧き起りました。

この体育祭は、軟式野球、ソフトテニス、卓球、バドミントンなど既に開幕した種目もありますが、多くの大会は9～10月に集中しており12月まで市内各地で熱戦が繰り広げられます。



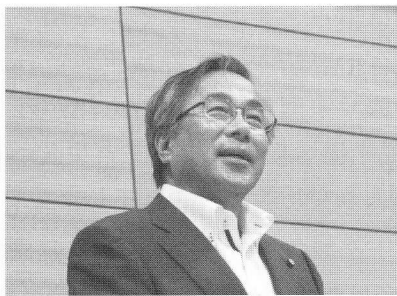
開会式会場



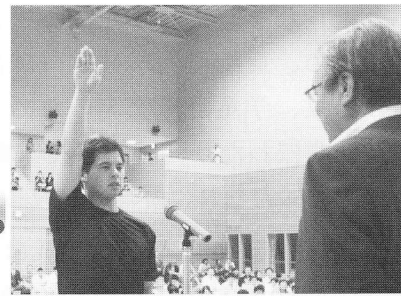
優勝杯返還



優勝楯授与



大会長挨拶



選手宣誓

第13回 北海道選抜還暦軟式野球大会

球爺 グラウンドに躍る

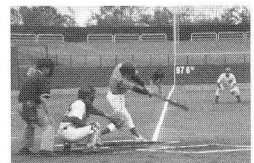
軟式野球の第13回北海道選抜還暦軟式野球大会が9月3日～4日、釧路市民球場ほか3球場で行われました。

初の釧路市開催で、主催は北海道還暦軟式野球連盟。全道登録38チームより、激戦区を勝ち抜いて選抜された16チーム320名が出場し、トーナメントで全道一の座を争いました。

釧路からは、道東ブロック大会で優勝を果たした釧路東部クラブと準優勝の釧路シニアクラブ

の2チームが出場。ベスト4にコマを進めた釧路東部クラブは準決勝で士別クラブジョーカーズ（道北）と激突。大接戦の末、6-5で惜敗しました。

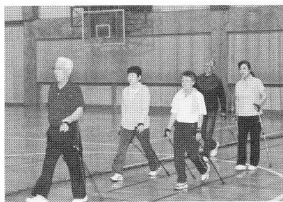
「生涯現役」「生涯健康」「生涯友情」をモットーとする還暦野球。青年のごとく深瀬としたプレーが随所で披露され、球児ならぬ球爺（きゅうじい）の嬉々としたユニフォーム姿がグラウンドではじけました。



鉦路市体育協会阿寒支部

グスの杜あかん

事務局 早坂 勝則



鉦路市体育協会阿寒支部は、現在12団体約500名の登録があり、積極的に活動しております。

特にソフトボール協会では、20年間続くナイターリーグ大会を6～8月の期間に町内外16チームの参加で熱い戦いを展開し、大会を盛り上げております。またパークゴルフ協会では毎月2回住民パーク大会を開催し、会員増強、健康増進、資質向上に努めることによって参加者も増えています。

今年4月より、阿寒総合運動公園とスポーツセンターはグスの杜あかんが指定管理者として管理・運営することとなりました。それに伴い体協阿寒支部、スポーツ少年団、阿寒スポーツクラブの事務局として阿寒のスポーツ振興に取り組んでおります。

本年度より、体協と共催で小学生を対象にサッカー教室、水泳教室を毎月開催しています。参加者約50名は、スポーツの楽しさと体力づくりに取り組んでおります。また、ノルディックウォーキング教室を開催しました。スティックを使って足腰への負担にならない正しい歩き方について学習し、実践として赤いベレー周辺3kmほどウォーキングした後に参加者30名で焼き肉をほおぼり、楽しい日を過ごしました。

鉦路市体育協会音別支部

設立60周年に向けて

事務局 山田 昌江



当支部は、昭和33年に「明るく豊かな生活を営むために、町民の健康増進と気力・体力づくりを目的に、手軽に家族ぐるみで参加できる協会」として発足されましたが、当時は競技団体の加盟はなく、町内会や事業所で構成されていきました。設立から58年。一時期は20団体あった競技団体も、地域人口の減少・少子高齢化やスポーツの多様化により減り続け、現在は7つの競技団体と町内会で構成されています。

支部主催の町内対抗競技大会は、町内をいくつかの地区に分け、数種目の総合得点により順位を競います。昭和34年から行われてきた競技種目の1つ「町民大運動会」は平成9年度に休止され、その他の種目もその時代に合わせて見直しを行いながら現在まで継続されてきました。今年度は6月にパークゴルフを実施し、9月に軽スポーツ、11月にミニバレーボール、1月にカーリングと4種目の競技が予定されております。

今後も多くの地域住民と関わりを持ちながら市民体育・スポーツの普及発展を目指し、地域活性化の一助となるように取り組んでまいります。

事業を通しての成果

鉦路地方陸上競技協会

理事長 大道 裕昭



新しいハンマーサークル

本協会の今年度事業は、幼児・小学・中学・大学・一般を参加対象とした鉦路地方大会を19大会実施し、特に、ジュニア世代の子どもたちが興味関心を示すよう大会ごとに工夫をして開催をしています。現在では、毎回約800名が十勝や北見・網走から参加するようになってきました。

今後の全道規模の大会は、28年度は北海道選手権大会約1,000名の参加、標茶で北海道高等学校男女駅伝大会約700名の参加、29年度には国体北海道選手選考大会約1,300名の参加、30年度には北海道小学生陸上競技大会約1,500名、更に高体連・中体連大会と毎年開催する予定になっています。

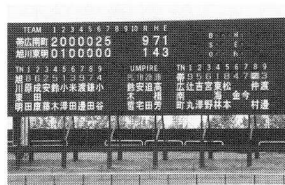
また、懸案であった競技場の用器具等を一新していただき、今後も大会誘致に繋がるよう努めていきたいと思っております。

強化普及委員会で道東地区の中学・高校生の短距離や跳躍・投擲を中心に、強化合宿や合同練習や中長距離合宿、冬季には講師を招き講習と実技指導の実施と年間通して事業を計画し、生徒そして指導者も研修に励んでいます。今後も地域の活性化になるよう鉦路地方の陸上関係者が一丸となって邁進してまいります。

好評!! 電光掲示板

鉦路軟式野球連盟

事務局長 佐藤 泰雄



当連盟は昭和21年に結成以来70年を迎えました。現在は100チーム（一般60・少年21・学童23）余りの加盟がありますが、少子化に加え統廃合等の一途を辿り、少年・学童は地域を越えて混成チームが増えています。そんな中で鉦路管内各連盟の御協力を得て各種大会を鉦路管内一括の支部大会として支えています。5月の連休から10月まで各大会を鉦路管内の各球場を使用させていただき地域貢献もする中で活動を行っています。さらに本年度は全日本少年軟式野球北海道大会と北海道あさ野球大会の全道大会2大会開催されます。

本年から市民球場にフルカラーの電光掲示板が設置され、シーズン当初から使用しています。選手名・審判員名・スコア等色々項目が表示されるので学童の大会では出場している選手だけでなく観戦に来ている父母の皆さんからも感動の声が上がっています。全道大会に出場のために各地から来鉦の方々からも「鉦路の電光掲示板は屋外球場では一番素晴らしい」と絶賛の声をいただきます。来年度は人工芝に変更される予定です。

施設が整備される中、今後も体育協会と共にスポーツをこよなく愛する青少年の育成を目指し、野球少年拡大を図ってまいります。

第89回 北海道陸上競技選手権大会

7月16～17日に釧路市民陸上競技場で行われた上記選手権大会は、トラック、フィールド両競技合わせて予選・決勝47種目を実施しました。

両日はやや肌寒い天候ながら中学生、高校生、大学生・一般から合わせて1,022人（男子668人、女子354人）の選手が参加し、日本選手権と国民体育大会への出場権獲得を目指して熱戦が繰り広げられました。

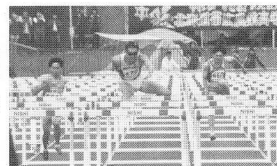
4年ぶりの釧路開催となるこの大会では、同競技場で新しく入れ替えた投てき用フェンスやハードルなどが早速、運用を開始しました。

釧路市出身の選手も多数参戦し、女子100m

北風沙織選手が9度目のV、女子200mでは床杏莉選手が優勝するなど、大いに健闘しました。

とりわけ、リオデジャネイロ五輪で旗手を務めた十種競技代表の右代啓祐選手（江別市出身）は、110m障害に出場したほか、砲丸投げと円盤投げでは貫録の優勝を果たしました。怪我明けながら復活をアピールできた競技ぶりであり、観客や他の選手の注目を集めました。

また、男子100m、男子1万m競歩、男子走り幅跳びの3種目で大会記録が塗り替えられました。



平成28年 熊本地震義援金

4月14日に熊本県を震源とする大規模な地震が発生しました。想像をはるかに超えた被害や余震の連続により、未だ復旧の目途が立たず不慣れた生活を強いられている被災者が多数おられます。衷心よりお見舞い申し上げます。次第です。

そこで釧路市体育協会として、被災された方々を支援するため、加盟団体・支部皆様へ義援金のご協力をお願いしました。これに対し、役員会、総会等の会議や競技会会場での募金活動など、多くのご協力や支援の輪を広げて頂きました。本当にありがとうございました。

募集期間が短くご負担をおかけいたしました。総額は274,011円に達し、窓口である（公財）北海道体育協会に振り込みを済ませました。被災地の速やかな復興を心から願うものです。

八千代市とのスポーツ交歓会

第33回ブロンズ像友好八千代市・釧路市少年少女スポーツ交歓大会が6日、釧路市内各地で行われました。

釧路市の幣舞橋と八千代市の村上橋、双方のブロンズ像がそれぞれの街で市民に愛されるシンボルとして息づいていることが縁で、昭和57年から小学生のスポーツ交流で親交を深めてきました。

釧路勢チームとして、軟式野球には鳥西メジャーズ、サッカーとミニバスケット男女には釧路選抜で臨み、夏休みの貴重な体験となりました。

今大会の対戦成績は、3種目で通算9試合を実施し、釧路市の1勝8敗。

更なる友好親善のためにも、今後の巻き返しが大いに期待されます。



編集後記



リオとの時差は12時間。昼夜逆転のため決勝の多くは日本時間の未明から朝方にかけて行われた。いつもより早起きして、世界に挑む日本選手への応援となった▼日本がリオで獲得したメダル総数は計41個で前回ロンドン五輪を抜いて史上最多。若い世代の活躍が光り、東京五輪へ期待が膨らむ快挙である。悔し涙を流した選手もいるだろうが、日本を代表して世界の強豪を相手に全力を尽くした全員の選手の健闘を改めて讃えた▼「もうだめか」との逆境の場面でも決してあきらめず強い信念と意志で手繰り寄せた逆転のメダル。お家芸の言葉に象徴される日本柔道陣としての一体感。結果につなげたチームワークの良さ。進化させたバトンパス。まさに、日の丸躍進の大会と言える▼一方、視点をもメダル獲得種目数に移したなら、ロンドン五輪に比べ13から10に減っている。国際舞台を経験する機会を豊富に設定するなど幅広い競技の強化が必要だ▼閉会式で五輪旗を引き継いだのは小池東京都知事。JOCや各競技団体は4年後を見据えた効果的な強化策を練ることとなる。国を挙げて創り上げていく東京五輪。釧路市民としても地元出身選手のサポートや合宿誘致など、気運を高めていくこととなる。